

# クリスマススイブ礼拝

愛と平和の光



2023年12月24日(日)

午後5時

横浜上原教会 礼拝堂

日本基督教団

**横浜上原教会**



# クリスマスイブ礼拝

司 式 植松恵子  
奏 楽 手島慶子

説 教 平田一吉牧師  
朗 読 子どもの教会



前 奏		
点 燭	小鳥も飛び去る冬のさなか	聖歌隊・子どもの教会
招 詞	イザヤ書 60 章 1～2 節	3
讃 美	231 「久しく待ちにし」	4
リタニ	栄光の讃美（グローリア）	5
讃 美	262 「聞け、天使の歌」	6
聖 書	マタイによる福音書 1 章 18～25 節	8
讃 美	267 「ああ、ベツレヘムよ」	9
聖 書	マタイによる福音書 2 章 1～2 節	10
讃 美	「我らは来たりぬ」	聖歌隊・子どもの教会
聖 書	ルカによる福音書 2 章 8～14 節	10
讃 美	265 「天なる神には」	11
説 教	「その名はインマニエル」	平田一吉牧師
祈 禱		
讃 美	261 「もろびとこぞりて」	12
奉 献	飼えばおけにすやすやと	聖歌隊・子どもの教会
祈 禱		
主の祈り		13
讃 美	264 「きよしこの夜」	14
祝 禱		平田一吉牧師
後 奏		

## 【前奏】

【点燭】 小鳥も飛び去る冬のさなか 聖歌隊・子どもの教会

【招詞】 イザヤ書 60 章 1～2 節

起きよ、光を放て。あなたを照らす光は昇り主の栄光はあなたの上に輝く。  
見よ、闇は地を覆い暗黒が国々を包んでいる。  
しかし、あなたの上には主が輝き出で主の栄光があなたの上に現れる。

## 久しく待ちにし



Veni, veni, Emmanuel  
 詞：ラテン語聖歌、9世紀

VENI EMMANUEL  
 曲：Processionale, 15世紀

1 ひさしくまち - にし すくい の主き - たり、  
 3 やみのよをて - らす ひかり の主き - たり、  
 4 われらをみち - びく のぞみ の主き - たり、

とらわれのた - みを と きは な ち た - ま え。  
 く ら き く も は - ら い よ ろ こ び を た - ま え。  
 み く に の と び - ら を い ま ひ ら き た - ま え。

(くりかえし)  
 よろこべ、インマ - ヌエルきたりてすく - いたもう。



1 ひさ ま しく待ちにし 救い の主 来たり、  
 とらわれの 民を 解き放ちたまえ。

3 やみの夜をてらす 光の主来たり、  
 暗き雲はらい 喜びをたまえ。

(くりかえし)

よろこ 喜べ、インマヌエル 来たりて救いたもう。

4 われらを導く 望みの主来たり、  
 み国の扉を いま開きたまえ。

## 【リタニー（交唱）】 栄光の讚美（グローリア）

司会者 いと高きところには、神に栄光がありますように、  
会衆 地にある神の民に、平和がありますように。  
司会者 私たちの主なる神、天にいます主、全能の父なる神よ、  
会衆 私たちはあなたをあげ、あなたに感謝し、  
あなたの栄光をたたえて、賛美をささげます。  
司会者 父なる神のひとり子、主イエス・キリストよ、  
会衆 主なる神、神の子羊、  
司会者 あなたは世の罪を取り除かれます。  
会衆 主よ、私たちをあわれんでください。  
司会者 世の罪を取り除かれる主よ、  
会衆 私たちをあわれんでください。  
司会者 父なる神の右にいます主よ、  
会衆 私たちをあわれんでください。  
司会者 ただあなただけが聖なるかた、  
あなただけが私たちの主、  
会衆 ただあなただけがいと高きイエス・キリスト。  
司会者 聖霊と共に、父なる神と共にいます主に、  
会衆 栄光がありますように。アーメン。





262

教会暦 降誕・クリスマス  
聞け、天使の歌

[ I 98 ]  
[ こ改75 ]

Hark! the herald angel sing  
詞 : Charles Wesley, 1707—1788

MENDELSSOHN  
曲 : Felix Mendelssohn, 1809—1847

き け、て ん し の う た、「み 子 に は え い こ、

地 に は へ い わ あ れ、世 の ひ と び と に。

ダ ビ デ の む ら に - う ま れ し み 子 を -

せ か い の た み よ、と も - に あ が め て



き け、よ ろ こ び の お と - ず れ の う た。

(♩ = 104)

1 き け、<sup>てんし</sup>天使の<sup>うた</sup>歌、「<sup>こ</sup>み子には<sup>えいこう</sup>栄光、  
<sup>ち</sup>地には<sup>へいわ</sup>平和あれ、<sup>よ</sup>世の人々に」。  
<sup>むら</sup>ダビデの村に <sup>う</sup>生まれし<sup>こ</sup>み子を  
<sup>せ</sup>世界の民よ、<sup>とも</sup>共にあがめて  
き け、<sup>よろこ</sup>喜びの <sup>うた</sup>おとずれの歌。

2 <sup>こ</sup>み子<sup>きりすと</sup>キリストこそ <sup>と</sup>永遠に<sup>います</sup>います<sup>しゅ</sup>主。  
<sup>かみ</sup>神の時<sup>とき</sup>満ちて <sup>おと</sup>おとめに<sup>やど</sup>宿り、  
<sup>ひと</sup>人となりたる <sup>かみ</sup>神のみ<sup>こと</sup>ことば、  
<sup>しゅ</sup>インマヌエルの<sup>こ</sup>主 <sup>こ</sup>今宵<sup>うた</sup>生まれぬ。  
き け、<sup>よろこ</sup>喜びの <sup>うた</sup>おとずれの歌。



## 【聖書】 マタイによる福音書 1 章 18～25 節

18 イエス・キリストの誕生の次第は次のようであった。母マリアはヨセフと婚約していたが、二人が一緒になる前に、聖霊によって身ごもっていることが明らかになった。19 夫ヨセフは正しい人であったので、マリアのこゝろを表ざたにするのを望まず、ひそかに縁を切ろうと決心した。20 このように考えていると、主の天使が夢に現れて言った。「ダビデの子ヨセフ、恐れず妻マリアを迎え入れなさい。マリアの胎の子は聖霊によって宿ったのである。

21 マリアは男の子を産む。その子をイエスと名付けなさい。この子は自分の民を罪から救うからである。」22 このすべてのことが起こったのは、主が預言者を通して言われていたことが実現するためであった。

23 「見よ、おとめが身ごもって男の子を産む。その名はインマヌエルと呼ばれる。」この名は、「神は我々と共におられる」という意味である。24 ヨセフは眠りから覚めると、主の天使が命じたとおり、妻を迎え入れ、25 男の子が生まれるまでマリアと関係することはなかった。そして、その子をイエスと名付けた。



O little town of Bethlehem  
詞 : Phillips Brooks, 1835-1893ST. LOUIS  
曲 : Lewis H. Redner, 1831-1908

あ あ ベ ッ レ ヘ ム よ、ち い さ - な ま ち。  
し ず か な よ ぞ ら に ま た た く ほ し。  
お そ れ に み ち た や み の な か に  
き ぼ う の ひ か り は き ょ う か が や く。

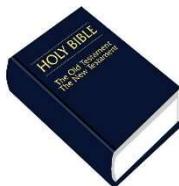
(♩=100)

- 1 ああベツレヘムよ、<sup>ちい</sup> <sup>まち</sup> 小さな町。  
<sup>しず</sup> <sup>よ</sup> <sup>ぞら</sup> <sup>ほし</sup>  
 静かな夜空に またたく星。  
<sup>おそ</sup> <sup>み</sup> <sup>やみ</sup>  
 恐れに満ちた 闇のなかに  
<sup>き</sup> <sup>ぼ</sup> <sup>う</sup> <sup>ひ</sup> <sup>か</sup> <sup>り</sup> <sup>き</sup> <sup>よ</sup>  
 希望の光は 今日かがやく。

- 3 <sup>ひと</sup> <sup>ねむ</sup> <sup>き</sup>  
 人はみな眠り 気づかぬまに  
<sup>めぐ</sup> <sup>み</sup> <sup>の</sup> <sup>たま</sup> <sup>もの</sup> <sup>てん</sup>  
 めぐみの賜物 天よりくる。  
<sup>こ</sup> <sup>こ</sup> <sup>ろ</sup> <sup>ひ</sup> <sup>く</sup> <sup>し</sup> <sup>しゅ</sup> <sup>む</sup> <sup>か</sup>  
 心低くし 主を迎えよ、  
<sup>つ</sup> <sup>み</sup> <sup>せ</sup> <sup>か</sup> <sup>い</sup> <sup>す</sup> <sup>く</sup> <sup>ぬ</sup> <sup>し</sup>  
 罪ある世界の 救い主を。

- 4 ああベツレヘムの <sup>き</sup> <sup>よ</sup> <sup>い</sup> <sup>み</sup> <sup>こ</sup> <sup>子</sup> <sup>よ</sup>  
 今こそわれらは <sup>こ</sup> <sup>ろ</sup> 心ひらく。  
<sup>つ</sup> <sup>み</sup>  
 すべての罪を とりのぞく主、  
<sup>と</sup> <sup>も</sup> <sup>や</sup> <sup>ど</sup> <sup>か</sup> <sup>み</sup>  
 共に宿る神、インマヌエルよ。





## 【聖書】 マタイによる福音書 2 章 1～2 節

1 イエスは、ヘロデ王の時代にユダヤのベツレヘムでお生まれになった。そのとき、占星術の学者たちが東の方からエルサレムに来て、<sup>2</sup>言った。「ユダヤ人の王としてお生まれになった方は、どこにおられますか。わたしたちは東方でその方の星を見たので、拝みに来たのです。」

## 【賛美】 我らは来たりぬ 聖歌隊・子どもの教会

## 【聖書】 ルカによる福音書 2 章 8～14 節

8 その地方で羊飼いたちが野宿をしながら、夜通し羊の群れの番をしていた。<sup>9</sup>すると、主の天使が近づき、主の栄光が周りを照らしたので、彼らは非常に恐れた。<sup>10</sup>天使は言った。「恐れるな。わたしは、民全体に与えられる大きな喜びを告げる。<sup>11</sup>今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになった。この方こそ主メシアである。<sup>12</sup>あなたがたは、布にくるまって飼い葉桶のなかに寝ている乳飲み子を見つけるであろう。これがあなたがたへのしるしである。」<sup>13</sup>すると、突然、この天使に天の大軍が加わり、神を賛美して言った。  
<sup>14</sup>「いと高きところには栄光、神にあれ、  
地には平和、御心に適う人にあれ。」



## 天なる神には

It came upon the midnight clear  
詞：Edmund H. Sears, 1810-1876

CAROL  
曲：Richard S. Willis, 1819-1900

「あめなる - かみには みさ - かえ - あれ -、  
地にすむ - ひとには へい わあ - れ」と -、  
みつかい - こぞりて ほむ - るう - たは -、  
しずかに - ふけゆくよにひび - けり -。

(♩ = 52)



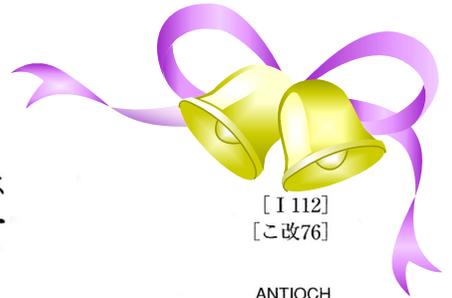
1 「<sup>あめ</sup>天なる<sup>かみ</sup>神には <sup>さか</sup>み栄えあれ、  
<sup>ち</sup>地に<sup>す</sup>住むひとには <sup>へい</sup>平和<sup>わ</sup>あれ」と、  
<sup>つか</sup>み使い<sup>うた</sup>こぞりて ほむる<sup>うた</sup>歌は、  
<sup>しず</sup>静かに<sup>よ</sup>ふけゆく 夜にひびけり。

2 今<sup>いま</sup>な<sup>つか</sup>おみ<sup>つか</sup>使い つばさを<sup>よ</sup>のべ、  
<sup>つか</sup>疲れ<sup>まも</sup>しこの<sup>まも</sup>世を おおい<sup>まも</sup>守り、  
<sup>かな</sup>悲<sup>みやこ</sup>しむ<sup>なや</sup>都に <sup>さと</sup>悩<sup>さと</sup>む<sup>さと</sup>里に  
<sup>なぐさ</sup>慰め<sup>しら</sup>あ<sup>しら</sup>た<sup>しら</sup>う<sup>しら</sup>る 調<sup>しら</sup>べ<sup>しら</sup>う<sup>しら</sup>た<sup>しら</sup>う。

4 <sup>つか</sup>み<sup>つか</sup>使い<sup>つか</sup>の<sup>つか</sup>う<sup>つか</sup>た<sup>つか</sup>う <sup>へい</sup>平<sup>わ</sup>和<sup>き</sup>来<sup>き</sup>たり、  
<sup>ひさ</sup>久<sup>せい</sup>しく<sup>と</sup>聖<sup>と</sup>徒<sup>ま</sup>の <sup>ま</sup>待<sup>ま</sup>ち<sup>ま</sup>しく<sup>ま</sup>に<sup>ま</sup>に、  
<sup>しゆ</sup>主<sup>しゆ</sup>イエ<sup>しゆ</sup>スを<sup>しゆ</sup>われ<sup>しゆ</sup>らの <sup>きみ</sup>君<sup>きみ</sup>と<sup>きみ</sup>あ<sup>きみ</sup>が<sup>きみ</sup>め、  
<sup>なぐさ</sup>あ<sup>なぐさ</sup>ま<sup>なぐさ</sup>ね<sup>なぐさ</sup>く<sup>なぐさ</sup>世<sup>なぐさ</sup>の<sup>なぐさ</sup>民<sup>なぐさ</sup> <sup>たか</sup>高<sup>たか</sup>く<sup>たか</sup>う<sup>たか</sup>た<sup>たか</sup>わ<sup>たか</sup>ん。

【説教】 「その名はインマニエル」 平田一吉牧師

【祈祷】 平田一吉牧師



261

教会暦 降誕・クリスマス  
もろびとこぞりて

[I 112]  
[改76]

Hark the glad sound! the Savior comes  
詞：Philip Doddridge, 1702-1751

ANTIOCH  
曲：Georg F. Händel, 1685-1759

もろびとこぞりていざ、むかえよ。

ひさしくまちにし主はきませり、  
主はきま

主はきませり、主は、主はきませり。

主はきませり、

(♩=96)

- |   |   |
|---|---|
| <p>1 もろびとこぞりていざ、むかえよ。<br/>ひさしく待ちにし主はきませり、<br/>主はきませり、主は、主はきませり。</p> | <p>3 この世の闇路を照らしたもう、<br/>光の君なる主はきませり、<br/>主はきませり、主は、主はきませり。</p>  |
| <p>2 悪魔の力をうちくだきて、<br/>捕虜を放つと主はきませり、<br/>主はきませり、主は、主はきませり。</p>       | <p>4 平和の君なるみ子をむかえ、<br/>われらの救いとほめたたえよ、<br/>ほめたたえよ、ほめ、ほめたたえよ。</p> |

【祈祷】

【主の祈り】

てん われ ちち  
天にまします我らの父よ。

な  
ねがわくはみ名をあがめさせたまえ。

くに き  
み国を来たらせたまえ。

てん  
みこころの天になるごとく

ち  
地にもなさせたまえ。

われ にちよう かに きょう あた  
我らの日用の糧を、 今日も与えたまえ。

われ つみ もの われ  
我らに罪をおかす者を、 我らがゆるすごとく、

われ つみ  
我らの罪をもゆるしたまえ。

われ  
我らをこころみにあわせず、

あく すく だ  
悪より救い出したまえ。

くに ちから さかえ  
国と力と栄とは

かぎ  
限りなく、なんじのものなればなり。

アーメン。



## きよしこの夜

[ I 109 ]

[ 改74 ]

Stille Nacht, heilige Nacht!  
詞 : Josef Mohr, 1792-1848STILLE NACHT  
曲 : Franz Gruber, 1787-1863

き - よ し こ の よ る ほ し は ひ か り、

す く い - の み - 子 は ま ぶ ね - の な - か に

ね む り - た も う - 、 や - す ら - か に - 。

(♩=96)

1 きよしこの夜<sup>よる</sup> 星<sup>ほし</sup>はひかり、  
すくいのみ子<sup>こ</sup>は まぶねのなかに  
ねむりたもう、やすらかに。

2 きよしこの夜<sup>よる</sup> み<sup>つ</sup>告げうけし  
ひつじかいらは み子<sup>こ</sup>の御前<sup>みまへ</sup>に  
ぬかずきぬ、かしこみて。

3 きよしこの夜<sup>よる</sup> み子<sup>こ</sup>の笑<sup>え</sup>みに、  
あたらしき代<sup>よ</sup>の あしたのひかり  
かがやけり、ほがらかに。



【祝祷】 平田一吉牧師

【後奏】



